

2021 Pinot Noir Laurelwood District Willamette Valley

ピノ・ノワール ローレルウッド・ディストリクト ウィラメット・ヴァレー

WINE ADVOCATE
96 POINTS

JAMES SUCKLING
93 POINTS



ABV : 13.4%
pH : 3.69
TA : 5.5 g/L
参考小売価格 : 9,500 円(税別)

ヴィンテージ

2021 年は、ブドウ栽培家/ワインメーカーにとって安堵のため息と、多くの笑顔をもたらす年となりました。山火事の影響でスモークに覆われた 2020 年、そして 2021 年はヒート・ドーム現象（熱波）が起き、「次は何だ！」と思われましたが、幸いにも熱波は少しのダメージですみ、実際には、起こりえたうどん粉病の発生を防ぐことが出来ました。9 月上旬の雨はブドウの樹を元気にし、9 月中旬には、とても綺麗で、完熟し、風味豊かなブドウができました。2012 年が思い出されるようで、夜はとても冷涼で、ワインはバランスのとれた酸、芳醇な香りを持ち合わせています。ブドウの収量は、予測していた量よりも若干少なかったですが、ワインの色調は濃く、凝縮感のあるワインが出来上がりました。このヴィンテージの利点は、人々がハッピーで収穫を迎え、再び美味しいワインを造ろうという活力がうまれた事です。これは間違いなく、ワインに味わいとして表現されています。

畑

Laurelwood District AVA の畑（自社畑の Avellana, Aurora、そして Linda Vista、Paloma、Alloro、Gemini）

全て LIVE(Low Input Viticulture & Enology)認証で Laurelwood 土壌

醸造

手作業で選果、35%は全房発酵、65%は除梗。小さなロットに分け、5 日間の低温浸漬を行い、ワインの色調とアロマを抽出します。土着酵母で発酵、発酵中の温度は、32°C 近くに達します。発酵後のマセラシオンを 5 日間行う前に、発酵槽を通気するか、もしくは 1 日に 2 回のパンチダウンを 12 日～20 日間程行います。フレンチオーク 14 ヶ月間熟成(37%新樽)。その後、澱引きをしてグラヴィティ・フローで瓶詰、12 ヶ月間の瓶内熟成後にリリース。

テイasting

スパイスの効いたブラックチェリーのフレーヴァーが最初に感じられ、煮詰めたブラックベリーやシナモン、ホワイトペッパー、ラベンダー、ベルガモットの複雑なアロマが広がります。ヴェルヴェットのようなシルキーな口当たり、蜜のような風味に、ほのかにヒノキやセージ、シダーの豊かな香り。余韻の長いタンニンには、グラファイトとダークチョコレートのニュアンスが感じられます。